

(((弊社の燃料電池関連の出版物)))

★2014年版 燃料電池年鑑(日本市場編) 2014年1月刊/定価(本体価格130,000円+消費税)

「燃料電池年鑑(日本市場編)」は主に日本国内のPEFC、SOFCを中心とした燃料電池の市場動向の概説、市場予測、車載用・定置用・ポータブルの各分野の主要企業の現状と今後の方向性などをまとめた「燃料電池年鑑(日本市場編)」の最新第6版。国内の燃料電池業界の最新動向を把握するのに最適な資料です。また約400社の燃料電池市場参入企業の最近の取り組みの現状をコンパクトにまとめたディレクトリーを収録。収録企業は、スタック開発、電解質膜・MEA、セパレータ、触媒、バランスオブプラント、改質器、熱交換器などのシステム・材料メーカーが中心です。「燃料電池年鑑(海外市場編)」とあわせて、国内外の主な参入メーカーの燃料電池開発の現状と全体像が把握できます。詳しくは弊社Websiteをご覧ください。

★2014年版 燃料電池年鑑(海外市場編) 2014年3月刊/定価(本体価格150,000円+消費税)

欧米を主体にした海外の燃料電池の市場動向、参入企業の現状、用途別タイプ別にみた世界の燃料電池市場の最新動向を概観する「燃料電池年鑑(海外市場編)」の最新第4版。燃料電池アプリケーションの開発は日本よりも欧米の方が活発で、バラード、プラグパワー、アイダテック、オージャ、SFC、セレスパワー、セラミックフューエルセルズ、フューエルセルエナジー、ハイドロジェニックスなどが定置用燃料電池だけでなく、バックアップ電源、フォークリフト用電源、バッテリー充電器、航空機、マリン、小型移動体など幅広い応用分野で燃料電池を実用化、商品化を進めている。主要企業の燃料電池関連企業ディレクトリでは、各社の燃料電池開発動向、開発製品、市場戦略等を約300社、個表形式で収録しました。詳しくは弊社Websiteをご覧ください。

★2014年版 定置用燃料電池の現状と将来展望 2014年順次発刊/定価(本体価格95,000円+消費税)

▲既刊 「2013年 定置用燃料電池の現状と将来展望(Ⅰ)」 家庭用燃料電池(マイクロ CHP)
▲2014年2月発刊 「2014年 定置用燃料電池の現状と将来展望(Ⅱ)」 分散発電、コージェネレーション
▲2014年3月発刊 「2014年 定置用燃料電池の現状と将来展望(Ⅲ)」 バックアップ電源、オフサイト電源等
▲2015年5月発刊 「2014年 定置用燃料電池の現状と将来展望(Ⅳ)」 Power to Gas、水電解装置市場
日本、欧米、韓国を対象として、発電用、定置用(Stationary Power)燃料電池、家庭用CHP、バックアップ電源、オフグリッド電源分野でPEFC、SOFC、MCFC、AFCを中心に主な需要分野の開発の現状、参入メーカーの最新動向、市場規模予測などを調査、分析した最新調査資料で、日本、および欧米の定置用燃料電池事業の動向と有力企業の概況を把握するのに最適な資料になっています。詳しくは弊社Websiteをご覧ください。

=====< 申込み用紙 >=====

<デジタルリサーチ行きオーダーフォーム>

FAX : 052-253-8685 / E-mail : endend@digital - research.co.jp

“ FUEL CELL WEEKLY ” の配信サービスを申込みます。

タイトル	体裁	本体価格	申込み口数
週刊燃料電池 “ FUEL CELL WEEKLY ” 配信サービス	年間48回、電子メールで PDFファイル形式で配信します。	38,000円 (+消費税)	()

(注) 配信された「FUEL CELL WEEKLY」を社内の複数部署で共有する場合は、3口でお申込み下さい。

会社名:	
住所: 〒	
電話:	FAX:
購入部署:	
担当者(ご氏名):	メールアドレス:

Fuel Cell Weekly (週刊「燃料電池」) 購読のご案内

編集・発刊: (有) デジタルリサーチ (燃料電池新聞/FuelCellWeekly/燃料電池年鑑)

▼ 国内外の燃料電池関連のニュースを毎週 PDF ファイルでメール配信。

▼ 年間48回配信するインターネット情報サービス。

▼ 年間購読料: 38,000円+消費税。

弊社では毎日、内外の水素・燃料電池に関するさまざまな情報を収集しており、2007年からインターネットを使ったニュース配信サービス「燃料電池情報サービス (Fuel Cell Daily News)」(400号を配信済)、2009年5月から「週刊<燃料電池> (Fuel Cell Weekly)」の配信を開始しました。2014年1月現在、228号まで配信しております。

この間、日本ではエネファーム (PEFC、SOFC) の市場導入が始まり、欧米ではバラードパワーシステムズ社などによる無線基地局向けバックアップ電源 (PEFC)、コスト競争力のある燃料電池システムになっているフォークリフト電源 (PEFC)、SFC エナジー社によるポータブル電源 (DMFC)、ブルームエナジー社やフューエルセルエナジー社による分散電源 (SOFC、PAFC、MEFC) の実用化が始まりました。マイクロ CHP (SOFC、PEFC) やトラック用 APU の商品化も間近いといわれています。そして2015年には燃料電池最大の市場になる燃料電池自動車 (FCV) の商品化が始まります。燃料電池市場は FCV 実用化を見据え、燃料電池スタック・システムの共同開発プロジェクトが動き出しました。FCV や家庭用燃料電池のコストダウンを見据え、高温電解質膜の開発や Pt 触媒使用量の削減や代替触媒の開発、水素ステーションの開発、さらに再生可能エネルギーの大量導入のための水素貯蔵技術などの研究開発、商品開発、市場開拓が精力的に進められております。

燃料電池産業は日本だけでなく、欧米でも大きな飛躍が予想されます。躍進する内外の燃料電池産業の情報収集に、「Fuel Cell Weekly (週刊燃料電池)」を是非、お役立てください。

FuelCellWeekly の特徴

- ◆燃料電池、水素エネルギー関連のニュース記事を毎週まとめて配信しますので、日本や世界で発信されているニュース記事・各社のプレスリリースなどを毎週一括して読むことができ、毎日の情報収集にかける手間が省れます。また、内外の多岐にわたる情報整理にも便利です。
- ◆重複するニュースは取捨選択してひとつの記事に要約して配信しますので、エッセンスだけ読むことができます。
- ◆日本で発信されるニュース記事に関しては、弊社独自の追加取材を実施しますので、ニュース記事の信頼性が向上します。

FuelCellWeekly の内容

■情報収集の範囲

日本、アジア、欧米各国の水素、燃料電池政策動向、燃料電池自動車、定置用燃料電池、モバイル燃料電池、燃料電池部品や部材、水素製造・貯蔵・運搬・供給などの関連情報。

■情報収集のためのソースは以下の通り。

	媒体	概要
情報収集の範囲	日本語情報	日経産業新聞、日本経済新聞、日刊工業新聞、化学工業日報の4紙掲載のニュースを基本として、その他、Webで配信される各新聞社のニュース記事や日経BP社Tech-On!などの解説記事も対象とする。
	英語情報	Fuel Cell Worksで収集された記事を中心に、Reuters、Wall Street Journalなど海外で発信される主要なウェブニュースをインターネットで収集するほか、FUEL CELL 2000、DOE、FUEL CELL COUNCILなど無料ニュースレター、主要海外企業、政府、業界団体のプレスリリースなども収集する。 *有料の専門ニュースレターは収集の範囲外です。

◆日本語による新聞、インターネットニュースなどから情報を収集、取捨選択のうえ、弊社の独自取材を加味したオリジナル記事を作成します。英語情報に関しては、記事内容を簡単な要約紹介文(100~150字程度)にして、記事の冒頭部分とリンクアドレスを添付します。サンプル見本をご請求ください。

◆配信：毎週月曜日の夕方。月4回、年間48回配信します。

◆年間購読料金：(本体価格38,000円+消費税)

◆配信された「FUEL CELL WEEKLY」を社内の複数部署で共有する場合は、3口のご契約をお願いします。

◆問合せ先：デジタルリサーチ (燃料電池新聞) TEL: 052-223-6205 担当：遠藤

最近配信した FuelCellWeekly の記事

・週刊燃料電池新聞「FUEL CELL WEEKLY」(No.225 2013.12.24)

▼国内情報

- 京都大、アンモニア燃料電池の研究開発を開始 2
- JX日鉱日石エネルギー、全国40カ所で水素ステーションの建設を検討 3
- 兵庫県立大、生物酵素電極を開発する「次世代水素触媒共同研究センター」開設 3
- 大阪ガス、低価格エネファーム(PEFC)を2014年4月から販売開始 4
- 経済産業省、「水素社会」の実現に向けたロードマップ策定に着手 5
- 科学技術振興機構：燃料電池の性能向上には白金触媒近くの水分子がカギ 6

▼海外情報

カナダ Hydrogenics、レンジエクステンダー配送車と屋上設置のバックアップ電源に燃料電池モジュールを供給 8

- 豪 Ceramic Fuel Cells、英国の粉末製造工場を ICL-PP Europe に売却 8
- 独 STILL の燃料電池フォークリフト、独 Viessmann の工場倉庫で実証開始 9
- 米 DOE、費用対効果の高い水素・燃料電池技術を商業化するために700万ドルを助成 9
- 米 DOE、米国の水素・燃料電池開発の現状をまとめたアニュアルレポートを公開 10

・週刊燃料電池新聞「FUEL CELL WEEKLY」(No.224 2013.12.16)

▼国内情報

NOK、燃料電池向けに低反力ゴムを使ったガスケットを開発 2

▼海外情報

- 独 N 2 telligence の防火システムの燃料電池、4万時間の運転時間に到達 3
- 独 Mainz 市、再生可能エネルギーを電力貯蔵する世界最大の水電解装置を Energiepark Mainz に設置 3
- 独 Linde Material Handling、BMW のライプチヒ工場に燃料電池レッカー車等を納入 4
- カナダ Hydrogenics、新しい水素供給ステーションと燃料電池バスコンセプトを発表 5
- カナダ Ballard、インドのセルラーと燃料電池と太陽電池のハイブリッド電源の実証開始 6
- 米 Foster Wheeler、英 AFC Energy の 250kW アルカリ形燃料電池モジュールを製造 7
- 韓国蔚山、世界初の水素タウンの建設を目指す 8
- Automotive News Europe によるトヨタ自動車インタビュー記事 9
- 米 FuelCell Energy、MCFC 燃料電池の総発電量が 20 億 kWh に到達 10
- フランス郵便 (La Poste)、燃料電池レンジエクステンダーEV 配送車の走行試験を実施 10
- 欧州 AVL List、Eberspächer など、大型トラック用 SOFC-APU を実用化 11
- カナダ BRITISH COLUMBIA 州政府、FC バスのフリート実証試験を 2014 年 3 月で終了 12
- 米 Novofuel と伊 Genport が共同開発した燃料電池ハイブリッド電源、2014 年に実用化の見込み 13



(Fuel Cell Weekly 内容見本)